

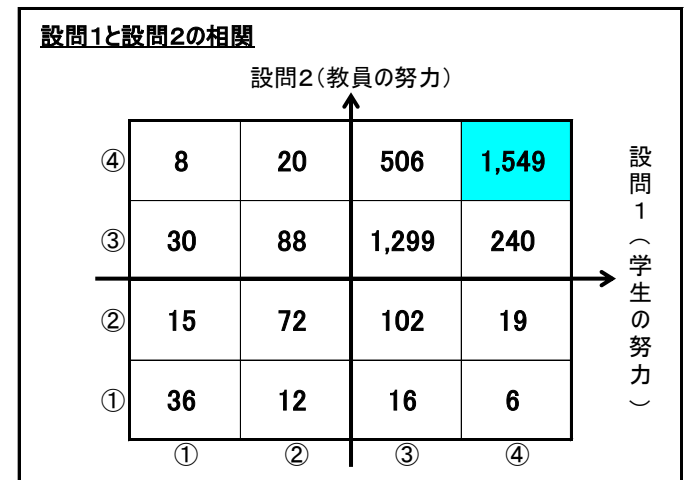
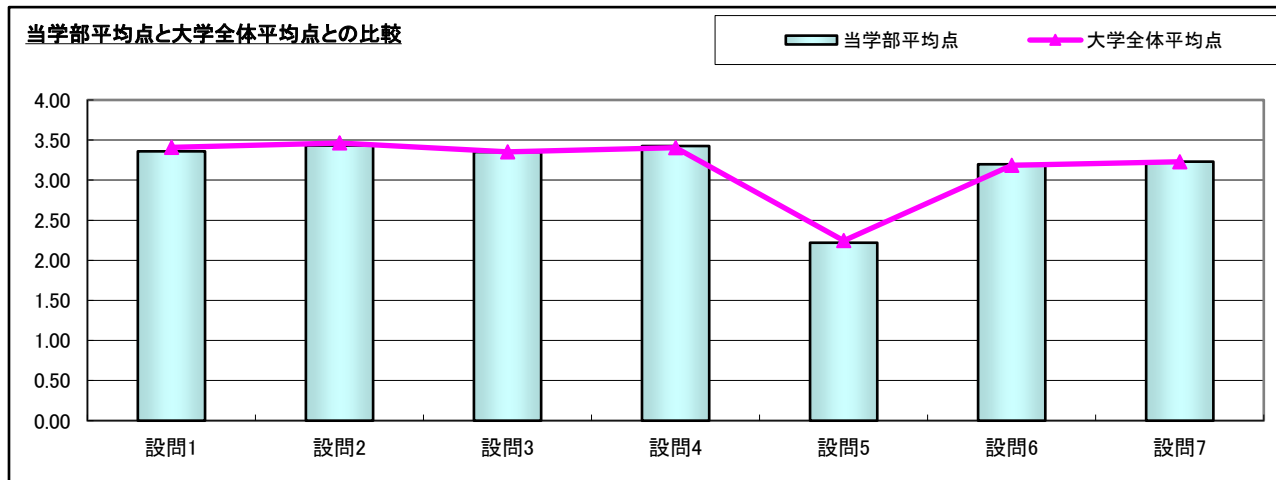
2018年度 前期 授業についての学生アンケート集計結果(学部別)

松本大学

学部	総合経営学部
----	--------

履修人数	5,093
回答者数	4,021

設問	設問文	平均点	回答数(人)／回答率(%)				無効回答	有効回答
			④	③	②	①		
1	あなたはこの授業(必修、選択は問わない)内容を理解することに積極的でしたか。 ④積極的に理解しようとした。③理解しようとした。②あまり積極的ではなかった。①理解よりも単位取得が主目的だった。	3.36	1,815 45.1	1,923 47.8	193 4.8	89 2.2	1	4,020
2	学生に理解させようとする教員の熱意・意欲を感じましたか。 ④強く感じた。③やや感じた。②あまり感じなかった。①まったく感じなかった。	3.43	2,084 51.9	1,657 41.2	208 5.2	70 1.7	2	4,019
3	この授業は内容がよく理解できるように工夫・配慮されたものでしたか。 ④そう思う。③ややそう思う。②あまりそう思わない。①そうは思わない。	3.35	1,931 48.1	1,651 41.1	346 8.6	89 2.2	4	4,017
4	教員は良い学習環境(私語に対する注意や安全面への配慮など)を保っていましたか。 ④良い学習環境だった。③ある程度良い学習環境だった。②あまり良い学習環境ではなかった。①良い学習環境ではなかった。	3.43	2,029 50.6	1,731 43.1	184 4.6	69 1.7	8	4,013
5	この授業のために、授業時間以外に毎週平均的にどれくらいの学習時間(予習・復習・レポート・実習・試験勉強など)をもちましたか。 ④1時間以上③30分以上～1時間未満②15分～30分未満①15分未満	2.22	625 15.6	990 24.7	1,042 25.9	1,359 33.8	5	4,016
6	授業をよりよくするために実施された中間アンケート調査など、寄せられた要望について、その後の授業で反映されていましたか。 ④よく反映されていた。③ある程度反映されていた。②やや反映されていた。①反映されていなかった。	3.20	1,503 37.6	1,919 48.0	434 10.9	139 3.5	26	3,995
7	あなたはこの授業において、シラバスに示されている学修到達目標を達成できましたか。 ④そう思う。③ややそう思う。②あまりそう思わない。①そうは思わない。	3.23	1,430 35.6	2,163 53.9	334 8.3	85 2.1	9	4,012



区分	総合経営学部
----	--------

改善計画等
<p>昨年度前期の総合経営学部科目の平均点の数値と比較すると、設問5の数値は同じではあるが、他の設問では0.02から0.05の上昇となっている。また、履修人数が245人減ったため、回答者数も172人と減少している。回収率は昨年と同じぐらいである。設問5の授業外学修については、先生方の努力がいろいろと聞こえてきてはいるものの、数値の上昇には繋がっておらず、今後の課題として考えていく必要がある。</p>

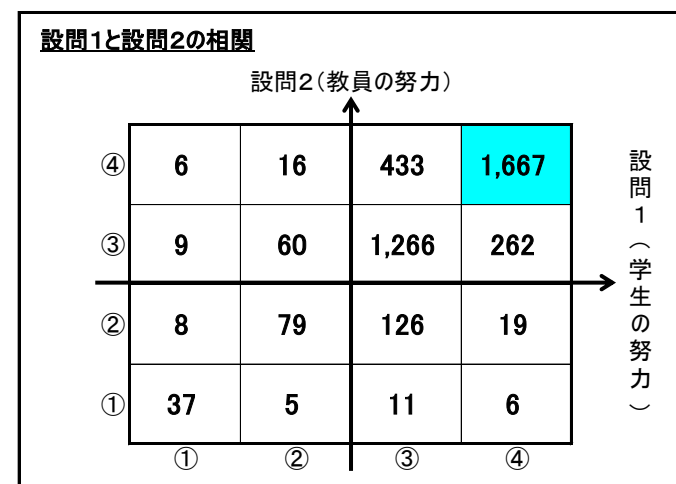
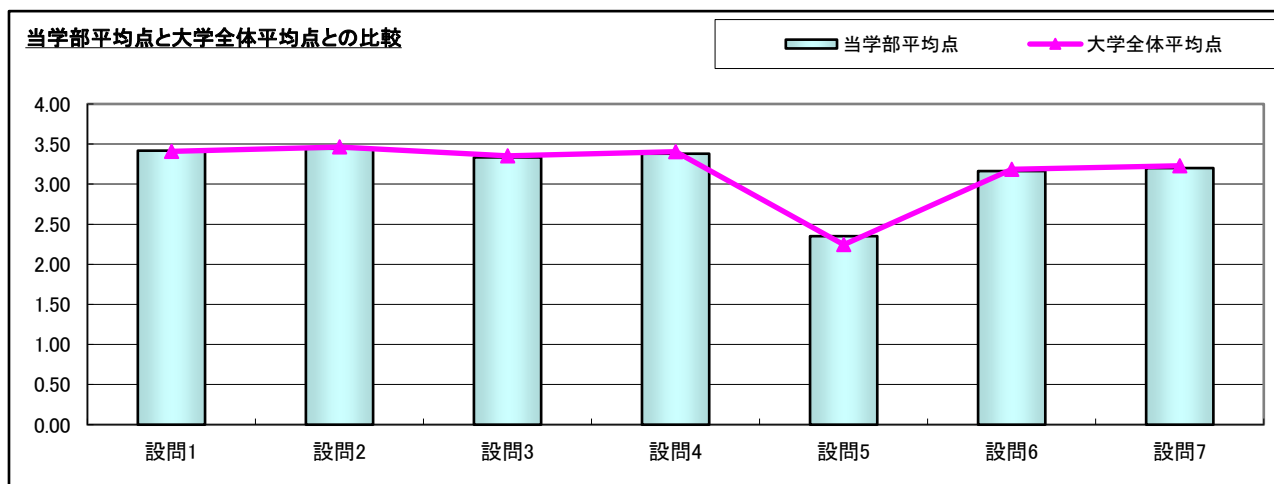
2018年度 前期 授業についての学生アンケート集計結果(学部別)

松本大学

学部	人間健康学部
----	--------

履修人数	4,461
回答者数	4,010

設問	設問文	平均点	回答数(人) / 回答率(%)				無効回答	有効回答
			④	③	②	①		
1	あなたはこの授業(必修、選択は問わない)内容を理解することに積極的でしたか。 ④積極的に理解しようとした。③理解しようとした。②あまり積極的ではなかった。①理解よりも単位取得が主目的だった。	3.42	1,954 48.7	1,836 45.8	160 4.0	60 1.5	0	4,010
2	学生に理解させようとする教員の熱意・意欲を感じましたか。 ④強く感じた。③やや感じた。②あまり感じなかった。①まったく感じなかった。	3.44	2,122 52.9	1,597 39.8	232 5.8	59 1.5	0	4,010
3	この授業は内容がよく理解できるように工夫・配慮されたものでしたか。 ④そう思う。③ややそう思う。②あまりそう思わない。①そうは思わない。	3.33	1,873 46.7	1,690 42.2	357 8.9	89 2.2	1	4,009
4	教員は良い学習環境(私語に対する注意や安全面への配慮など)を保っていましたか。 ④良い学習環境だった。③ある程度良い学習環境だった。②あまり良い学習環境ではなかった。①良い学習環境ではなかった。	3.38	1,948 48.6	1,705 42.6	276 6.9	76 1.9	5	4,005
5	この授業のために、授業時間以外に毎週平均的にどれくらいの学習時間(予習・復習・レポート・実習・試験勉強など)をもちましたか。 ④1時間以上③30分以上～1時間未満②15分～30分未満①15分未満	2.35	799 19.9	1,019 25.4	977 24.4	1,211 30.2	4	4,006
6	授業をよりよくするために実施された中間アンケート調査など、寄せられた要望について、その後の授業で反映されていましたか。 ④よく反映されていた。③ある程度反映されていた。②やや反映されていた。①反映されていなかった。	3.16	1,446 36.3	1,897 47.6	481 12.1	158 4.0	28	3,982
7	あなたはこの授業において、シラバスに示されている学修到達目標を達成できましたか。 ④そう思う。③ややそう思う。②あまりそう思わない。①そうは思わない。	3.20	1,346 33.6	2,204 55.0	369 9.2	87 2.2	4	4,006



区分	人間健康学部
----	--------

改善計画等
<p>当学部平均点を見ると、ほぼ大学全体平均点と同様であり、その意味では特段問題があるとは思われない。ただし、設問5（時間外学習）については、やはり少ないことを示しており、専門を学ぶという観点からも「問題あり」といわざるをえない。また、設問1と2の相関を見ると、第3象限（教員の努力・学生の努力共に不足）に129名がいることも注視せねばならない。3パーセント弱ではあるが、特定の科目に集中しているのか否かといった観点から、その実態について究明が必要ではないだろうか。</p>

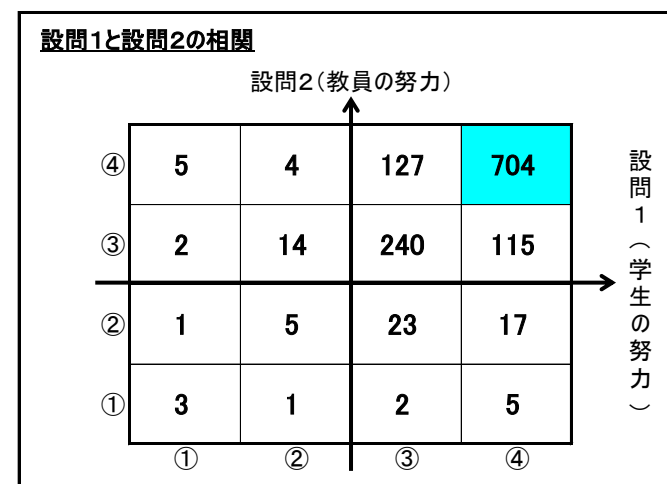
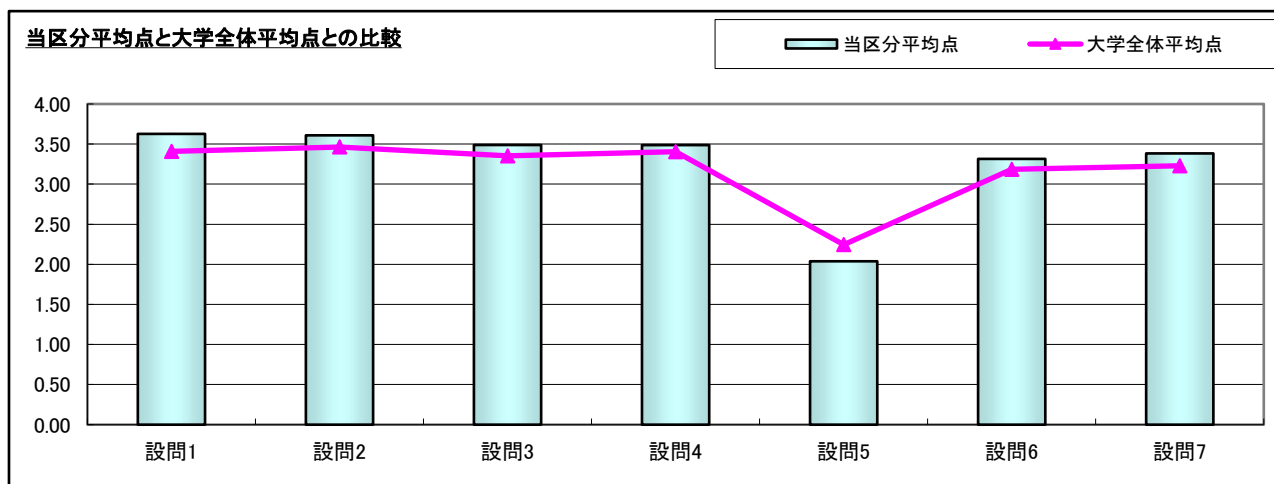
2018年度 前期 授業についての学生アンケート集計結果(区分別)

松本大学

区分	学校教育学科
----	--------

履修人数	1,324
回答者数	1,268

設問	設問文	平均点	回答数(人)／回答率(%)				無効回答	有効回答
			④	③	②	①		
1	あなたはこの授業(必修、選択は問わない)内容を理解することに積極的でしたか。 ④積極的に理解しようとした。③理解しようとした。②あまり積極的ではなかった。①理解よりも単位取得が主目的だった。	3.63	841	392	24	11	0	1,268
			66.3	30.9	1.9	0.9		
2	学生に理解させようとする教員の熱意・意欲を感じましたか。 ④強く感じた。③やや感じた。②あまり感じなかった。①まったく感じなかった。	3.61	840	371	46	11	0	1,268
			66.2	29.3	3.6	0.9		
3	この授業は内容がよく理解できるように工夫・配慮されたものでしたか。 ④そう思う。③ややそう思う。②あまりそう思わない。①そうは思わない。	3.49	740	426	81	20	1	1,267
			58.4	33.6	6.4	1.6		
4	教員は良い学習環境(私語に対する注意や安全面への配慮など)を保っていましたか。 ④良い学習環境だった。③ある程度良い学習環境だった。②あまり良い学習環境ではなかった。①良い学習環境ではなかった。	3.49	723	458	66	20	1	1,267
			57.1	36.1	5.2	1.6		
5	この授業のために、授業時間以外に毎週平均的にどれくらいの学習時間(予習・復習・レポート・実習・試験勉強など)をもちましたか。 ④1時間以上③30分以上～1時間未満②15分～30分未満①15分未満	2.04	176	210	366	514	2	1,266
			13.9	16.6	28.9	40.6		
6	授業をよりよくするために実施された中間アンケート調査など、寄せられた要望について、その後の授業で反映されていましたか。 ④よく反映されていた。③ある程度反映されていた。②やや反映されていた。①反映されていなかった。	3.31	613	489	116	49	1	1,267
			48.4	38.6	9.2	3.9		
7	あなたはこの授業において、シラバスに示されている学修到達目標を達成できましたか。 ④そう思う。③ややそう思う。②あまりそう思わない。①そうは思わない。	3.38	601	577	65	25	0	1,268
			47.4	45.5	5.1	2.0		



区分	学校教育学科
----	--------

改善計画等

まず全7項目の質問の内、設問5「授業以外の学習時間」だけが他の質問項目と比較して低い値(2.04)である。他の質問項目の平均がすべて3点台であること、その傾向が教育学部のみならず大学全体の傾向であることが特徴的である。また設問5以外はすべて大学全体の平均を上回っているにもかかわらず、設問5は全体平均を下回っているのが学校教育学科の特徴といえる。さらに設問1と設問2の相関では、学生と教員相互の努力を示している割合は93.5%、学生の努力に対して教員の努力が足りないと認知している割合が3.7%、教員の努力に対して学生自身が努力不足と認知している割合が1.97%、双方の努力が足りないと認知している割合は0.79%である。

以上の結果から大学全体との比較からは、多くの設問で多少なりとも全体平均を上回っていることは評価できる。また94%の授業において学生は理解しようと積極的に取り組み、教師もまた理解させようと熱意や意欲をもって取り組んでいたことは評価に値する。一方で授業時間以外の学習時間については、全体の傾向として他の設問よりもかなり低い値であることを考えると、設問に無理があるとも考えられる。2.04という平均点は、1つの授業について15分～30分程度の学習しかしていないことになるが、教育学部の学生の多くが週に1、2日は1限から5限まで授業が詰まっており、授業のない平日は皆無である。週末や長期休業中も集中講義、インターンシップ、学校ボランティア等が実施されていることを考えると、文部科学省の方針があるとはいえ、一概に学生の努力不足を指摘することは困難である。

最も改善が必要なことは設問1と設問2の相関において、割合こそ少ないが教員の意欲や熱意が不足していると指摘されている3.70%(回答数47)の授業である。また教員の熱意も感じられず、かつ学生自身も努力ができなかった授業は0.79%(回答数10)あり、その合計4.49%の授業についての改善である。学生からの聞き取りや普段からの授業の様子から、何のための学修か意味が分からないとか、進め方が一方的で意欲が出ないといった声が聞こえてきた。大学生活への不適應や家庭事情による学修困難などの理由もあるが、普段の授業で学生を救うことや、学ぶ意欲をもたせる工夫が必要であると考えられる。アクティブラーニング等を学ばせる立場の教員が、大学の授業そのものをアクティブに創造していく必要がある。